



東京証券取引所 市場第一部
証券コード 6926

2011年3月期（2010年度） 中間決算説明会

2010年12月3日(金)

岡谷電機産業株式会社

〔 I 〕

**業績見通し上方修正
(2010年8月12日)**

2011年3月期 業績見通し (年初計画)

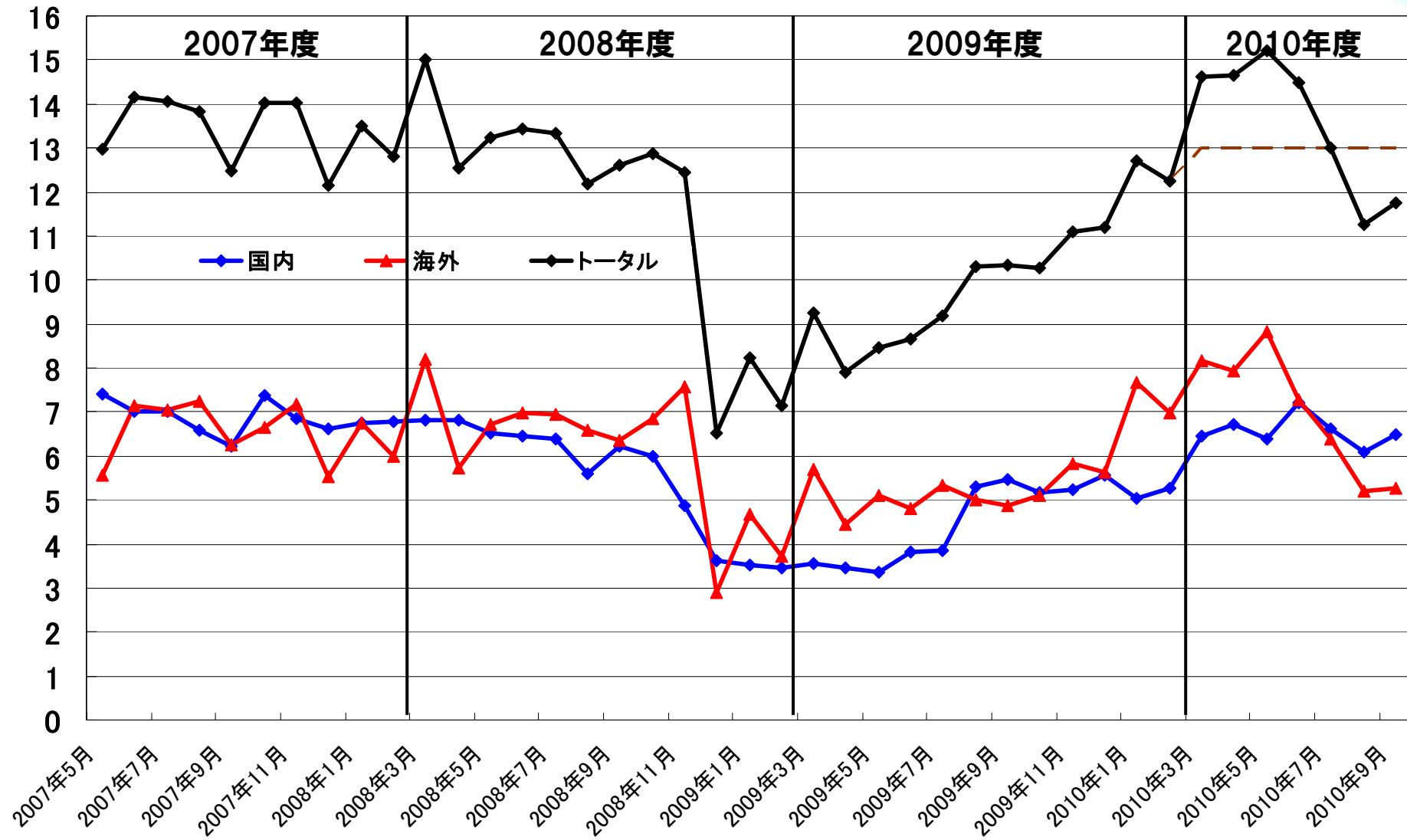
業績 (連結)

(単位：百万円、%)

	10/3期	11/3期 (計画)	増減	増減率
売上高	11,839	12,500	661	5.6%
ノイズ	6,399	6,600	201	3.1%
サージ	2,399	2,950	551	23.0%
表示	2,750	2,550	△200	△7.3%
センサー	291	400	109	37.4%
営業利益	550	600	50	8.9%
営業利益率	4.7	4.8	0.1	—
経常利益	482	600	118	24.3%
当期純利益	245	450	205	83.1%

受注高推移(連結)

(億円)



2011年3月期第1四半期 業績

(2010年4月1日～2010年6月30日)

業績 (連結)

(単位：百万円、%)

	09/6期	11/3期年間 期初計画	10/6期	前年同期 増減	前年同期 増減率
受注高	2,534		4,629	2,094	82.6
売上高	2,370	12,500	3,519	1,149	48.5
ノイズ	1,233	6,600	2,034	801	65.0
サージ	491	2,950	694	203	41.2
表示	534	2,550	597	63	11.8
センサー	112	400	194	82	72.4
売上総利益	506	—	932	426	84.1
売上総利益率	21.4	—	26.5	5.1	—
販売費及び一般管理費	496	—	603	107	21.6
営業利益	10	600	329	319	3109.8
営業利益率	0.4	4.8	9.3	8.9	—
営業外損益	△21	—	△41	△20	—
経常利益	△11	600	288	299	—
特別損益	3	—	△127	△130	—
当期純利益	△41	450	88	129	—

2011年3月期 業績見通し 〔2010年8月12日 修正版〕

業績（連結）

（単位：百万円、％）

	10/3期	11/3期 (年初計画)	11/3期 (修正計画)	前年増減率 (修正計画)
売上高	11,839	12,500	14,000	18.2 %
ノイズ	6,399	6,600	8,120	26.9 %
サージ	2,399	2,950	2,840	18.4 %
表示	2,750	2,550	2,550	△7.3 %
センサー	291	400	490	68.4 %
営業利益	550	600	1,200	117.9 %
営業利益率	4.7	4.8	8.6	—
経常利益	482	600	1,100	127.9 %
当期純利益	245	450	550	123.8 %

〔Ⅱ〕

2011年3月期(2010年度) 中間決算説明

連結経営成績の概要(1)

2010年度上期業績

	業績 (百万円)	※計画比 (%)	前年上期比 (%)	前年下期比 (%)	当上期の内容
売上高	7,231	103.3	136.9	110.3	
営業利益 (利益率)	794 (11.0%)	132.4 (8.6%)	5.6倍 (2.7%)	193.7 (6.3%)	
経常利益	719	130.9	10.2倍	174.6	
純利益	320	145.9	52.2倍	133.9	

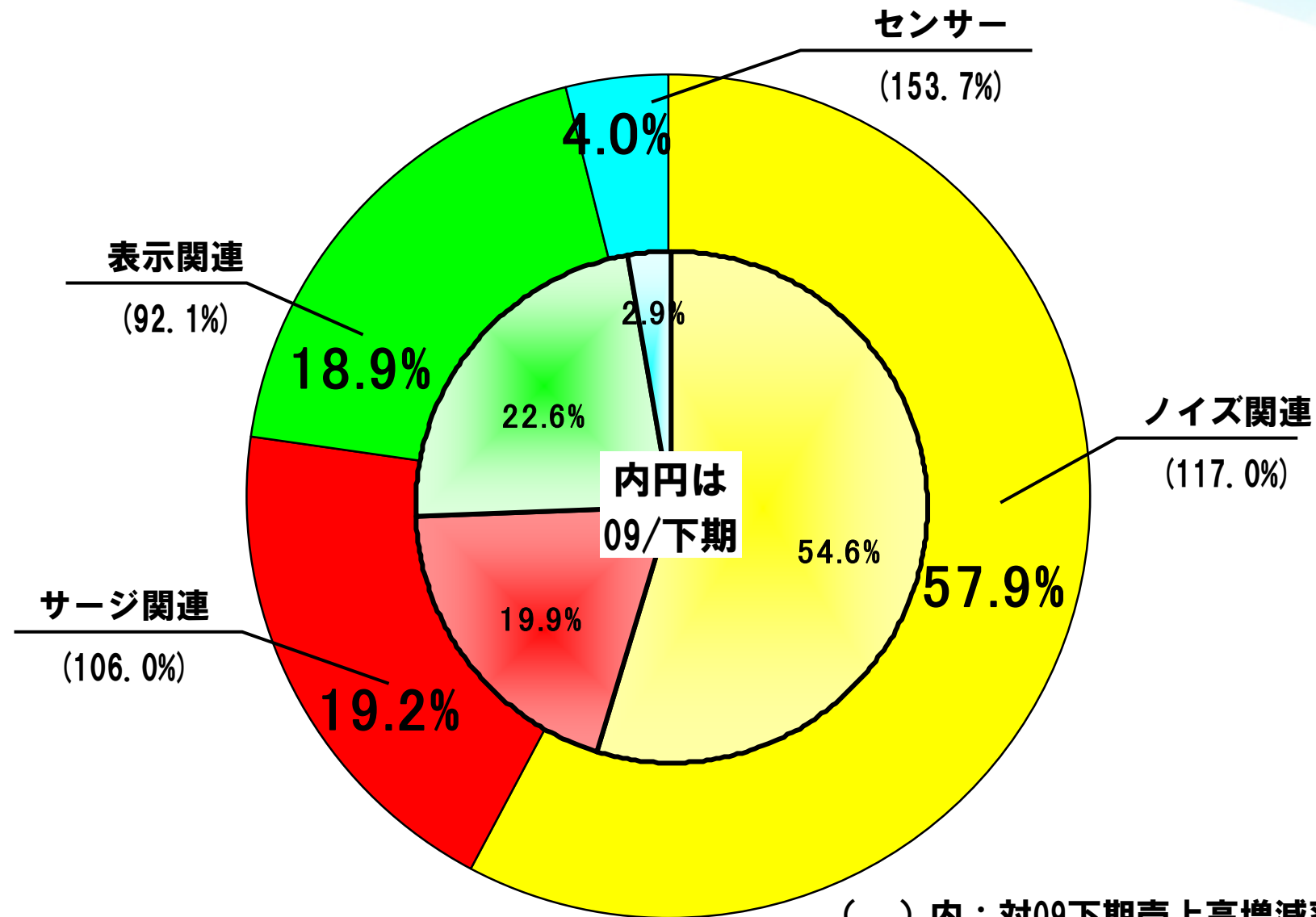
※2010年8月12日上方修正後の計画比

連結経営成績の概要(2)

事業別売上高 (連結)

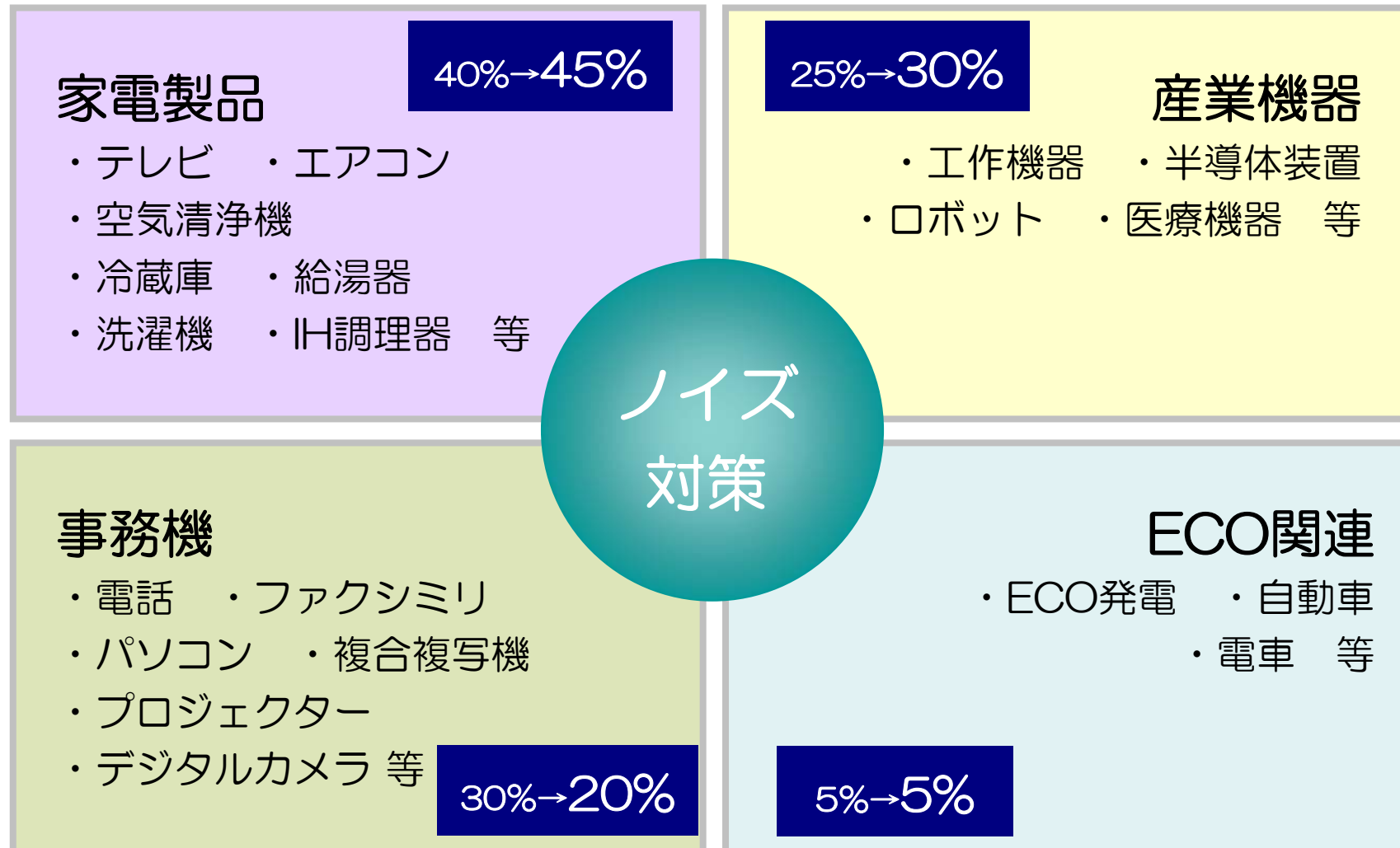
事業別	売上高 (百万円)	構成比 (%)	前年 上期比(%)	前年 下期比(%)	当上期の内容
ノイズ	4,190	57.9	148.7	117.0	<ul style="list-style-type: none"> ・工作機、半導体装置急伸(アジア向) ・TV、エアコン、パソコン大幅急伸 ・OA、通信も戻り
表示	1,364	18.9	107.5	92.1	<ul style="list-style-type: none"> ・N. Y地下鉄車両向終了 ・LED照明分野開拓中
サージ	1,385	19.2	126.7	106.0	<ul style="list-style-type: none"> ・TV用は減 ・エアコン、パソコン、工作機増
センサー	292	4.0	289.1	153.7	<ul style="list-style-type: none"> ・工作機のエンコーダ用が大幅伸長

事業別売上高（構成比）



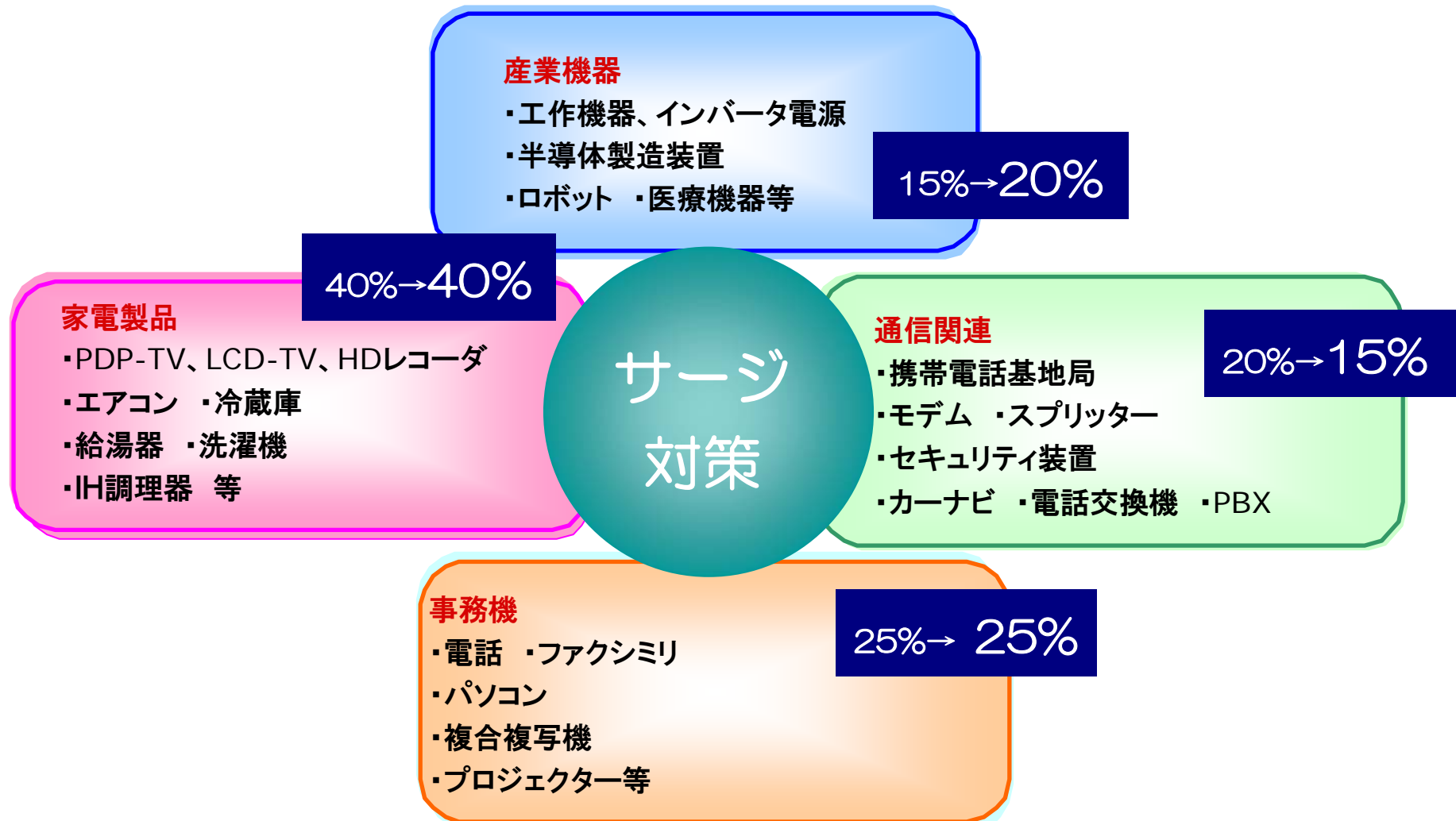
ノイズ対策市場の現状

構成率変化 09年→10年上



サージ対策実施商品

構成率変化 09年→10年上

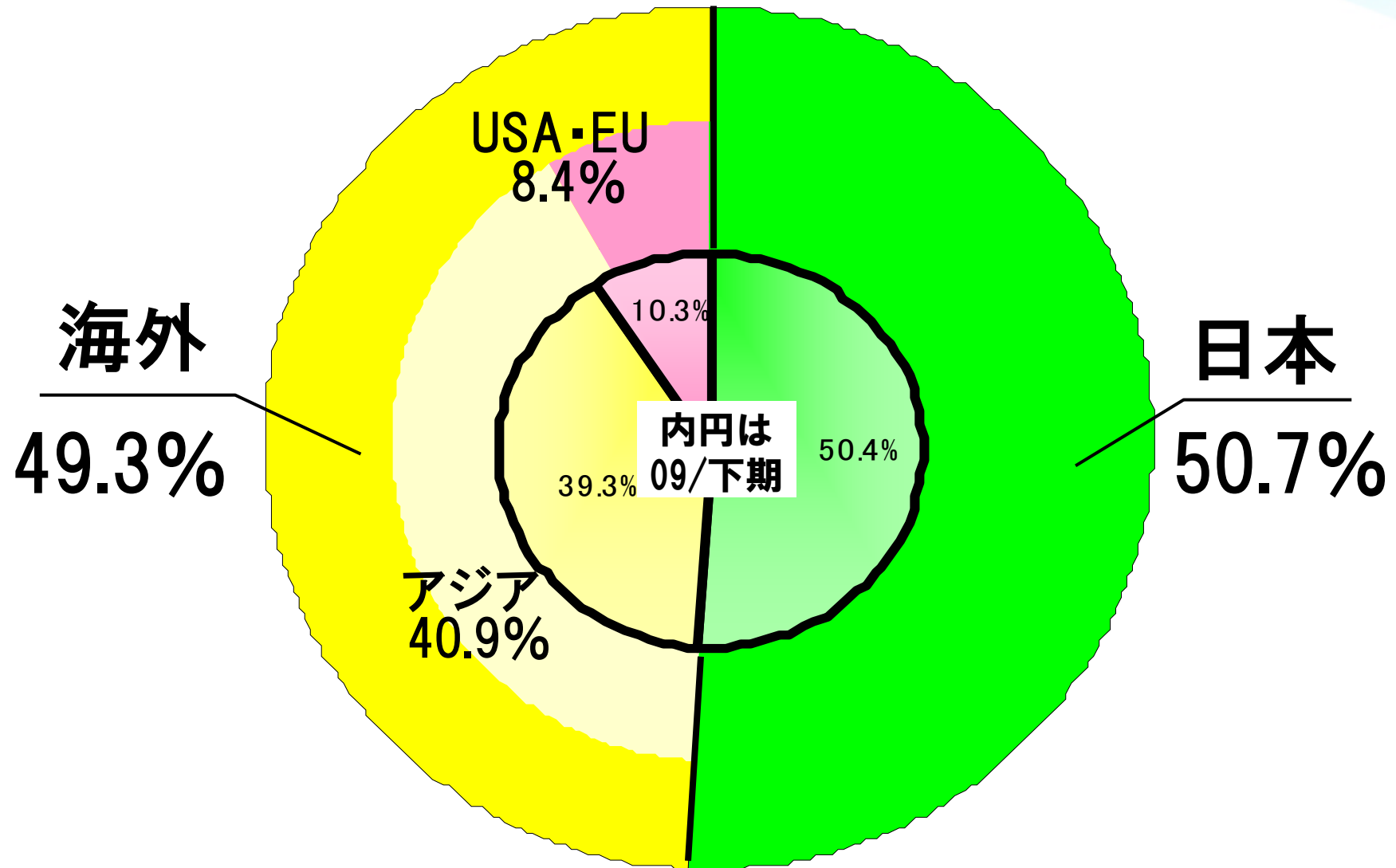


連結経営成績の概要(3)

地域別売上高

地域別	売上高 (百万円)	構成比(%)	前年 上期比(%)	前年 下期比(%)	当上期の内容
日本	3,663	50.7	164.8	110.8	・中国を中心としたアジア向工作機、 半導体用が急伸
アジア	2,957	40.9	132.1	114.6	・TV、エアコン、パソコン、OA、 通信戻りが早く、大幅増
USA、 EU他	611	8.4	74.5	90.8	・USAは医療機器用LCD堅実 ・EUは生産能力不足で供給大幅制限 ・N. Y地下鉄車両向終了

地域別売上高（構成比）



上期における主な活動

1. 納期問題、徐々に解決へ

- ・ 24Hr／日 × 29日／月 稼働で納期対応
- ・ 品質保証の強化により歩留向上---その結果、稼働率もアップ
 - ↳ 生産本部長が品質保証部門長を兼務し、直接指揮より迅速な問題解決が可能な体制に移行

2. 人づくり・質づくり

- ・ 質づくりは少しずつ効果あり
 - ↳ 粗利益率、歩留、クレーム、生産リードタイムなど
- ・ 納期問題対応を優先し、人づくりは下期に加速

3. ノイズ、サージに次ぐ柱づくり

- ・ センサー、LEDの内製化効果大(福島工場)
- ・ 新規需要、市場も開拓

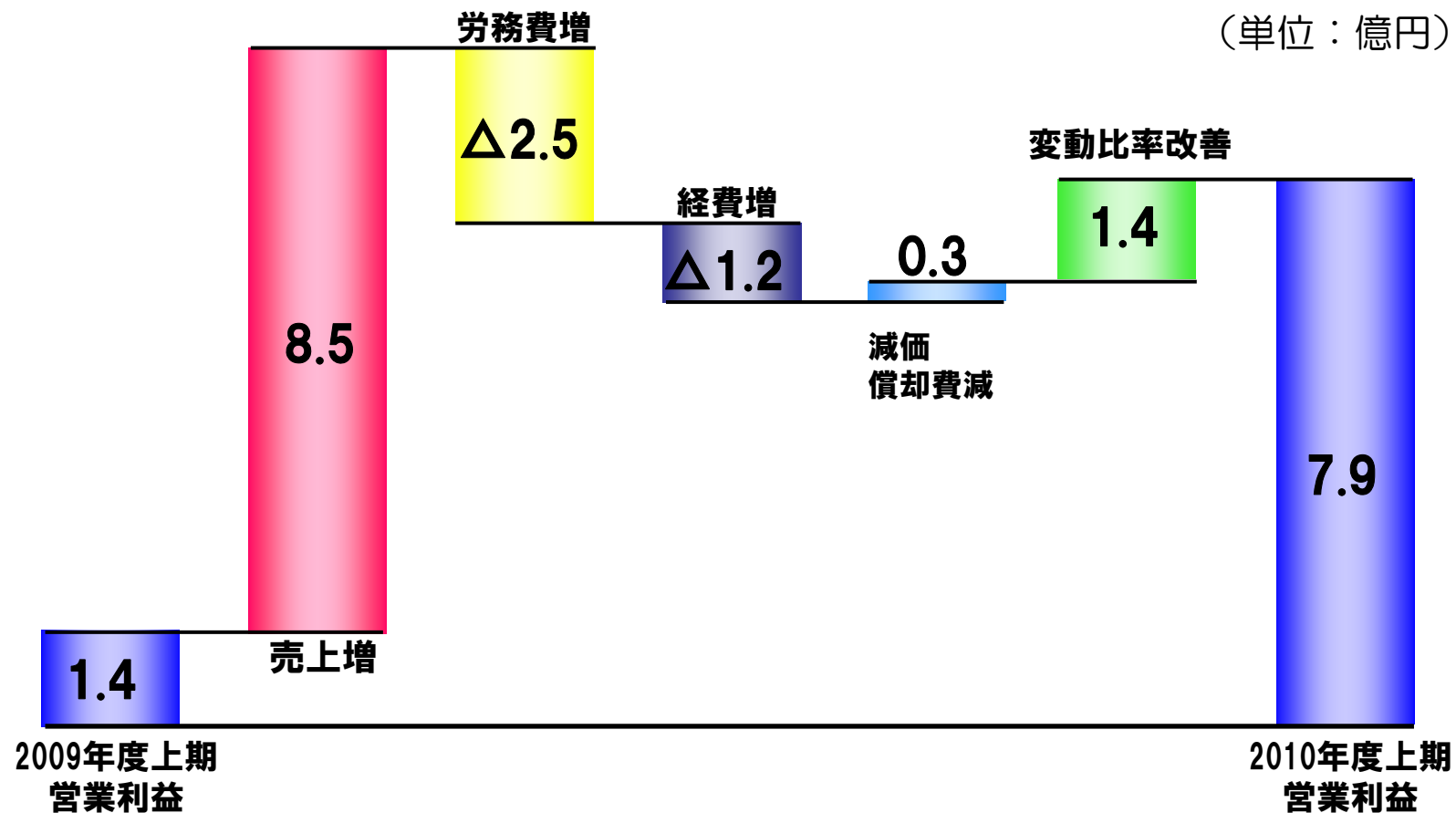
連結経営成績の概要(1)

2010年度上期業績

	業績 (百万円)	※計画比 (%)	前年上期比 (%)	前年下期比 (%)	当上期の内容
売上高	7,231	103.3	136.9	110.3	
営業利益 (利益率)	794 (11.0%)	132.4 (8.6%)	5.6倍 (2.7%)	193.7 (6.3%)	
経常利益	719	130.9	10.2倍	174.6	
純利益	320	146	52.2倍	133.9	

※2010年8月12日上方修正後の計画比

●利益（原価）の分析グラフ



連結経営成績の概要(1)

2010年度上期業績

	業績 (百万円)	※計画比 (%)	前年上期比 (%)	前年下期比 (%)	当上期の内容
売上高	7,231	103.3	136.9	110.3	
営業利益 (利益率)	794 (11.0%)	132.4 (8.6%)	5.6倍 (2.7%)	193.7 (6.3%)	
経常利益	719	130.9	10.2倍	174.6	・為替差損 96百万円
純利益	320	145.9	52.2倍	133.9	・投資有価証券評価損 122百万円

※2010年8月12日上方修正後の計画比

2011年3月期中間 財務状況（連結）

（単位：百万円）

	09/9期	10/3期	10/9期	10/3期比 増減額
流動資産	5,384	6,229	6,538	308
現金預金	764	827	686	△140
売上債権	2,884	3,658	4,332	673
たな卸資産	1,242	1,228	1,236	7
その他	493	515	282	△232
固定資産	5,799	5,719	5,231	△487
有形固定資産	3,315	3,136	2,870	△266
建物・構築物	960	906	819	△87
機械装置・運搬具	1,096	978	811	△167
土地	1,099	1,100	1,096	△3
その他	158	150	143	△7
無形固定資産	108	165	145	△19
投資その他の資産	2,375	2,417	2,215	△201
流動負債	2,949	3,539	3,542	2
仕入債務	925	1,360	1,398	38
短期借入金	1,300	1,354	1,152	△202
その他	723	825	991	165
固定負債	1,129	911	916	4
長期借入金	260	40	20	△20
その他	869	871	896	24
純資産（資本）	7,105	7,497	7,311	△186
総資産	11,183	11,949	11,769	△179

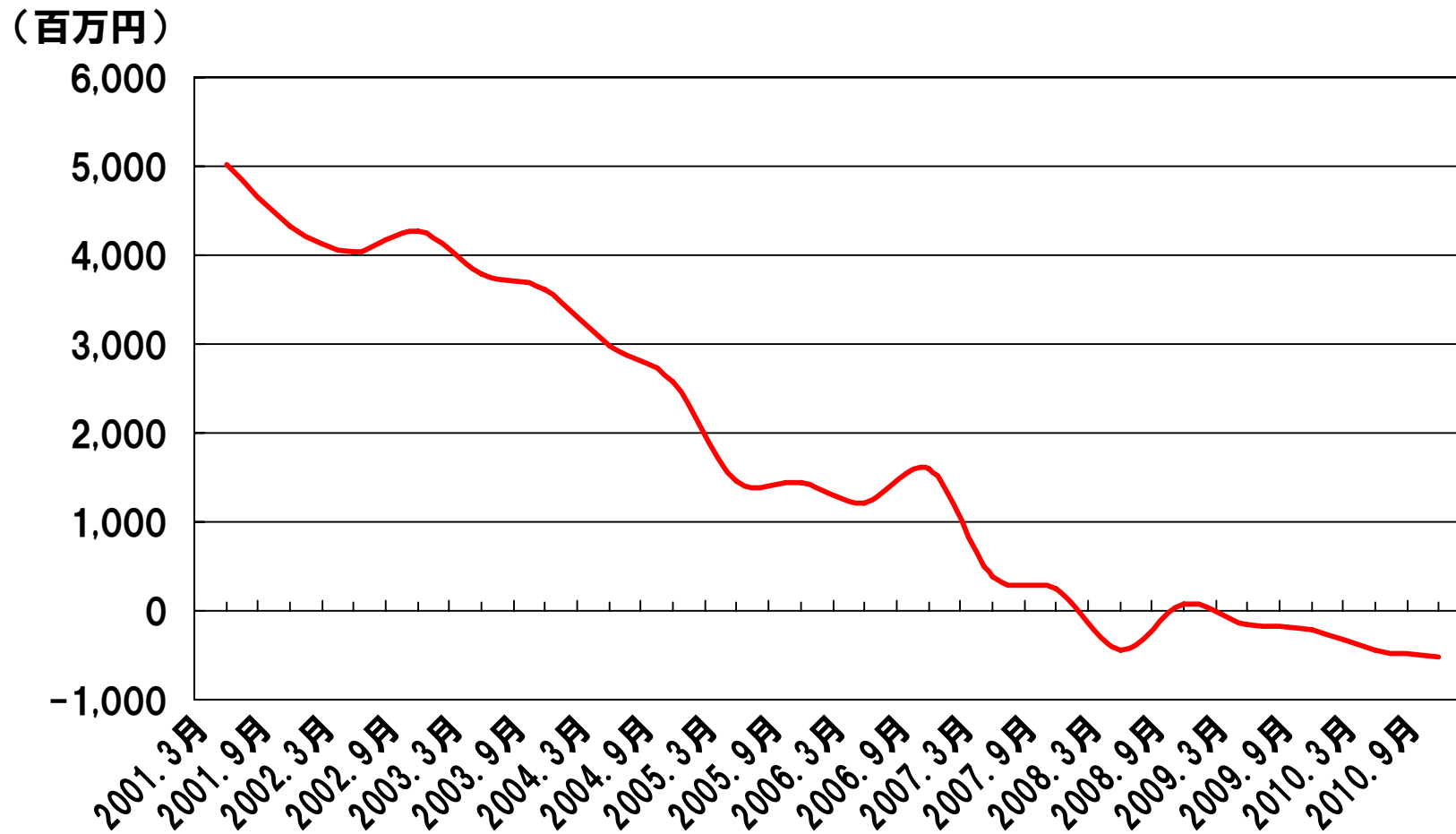
債権流動化
をとりやめ

回転率
1を目指す

売却債権の
未収金減少

自己資本比率
62.1%

有利子負債の推移～健全な経営体質



〔Ⅲ〕

2011年3月期(2010年度)

業績見通し

下期の事業環境

プラス要因

- 「省エネ」・「CO₂対策」関連は引き続き伸長
(eco発電、電気自動車、LED照明等)
- 中国内需拡大関連事業は、引き続き継続

懸念事項

- 2010年度モデルのTV在庫残り
2011年度モデルの生産が2~3ヶ月遅れる
- パソコンの立上り勝機が見えない
- 錫(Sn)を先頭に非鉄金属の値上がり
- 超円高/人民元高

2011年3月期 業績見通し 〔2010年8月12日 修正版〕

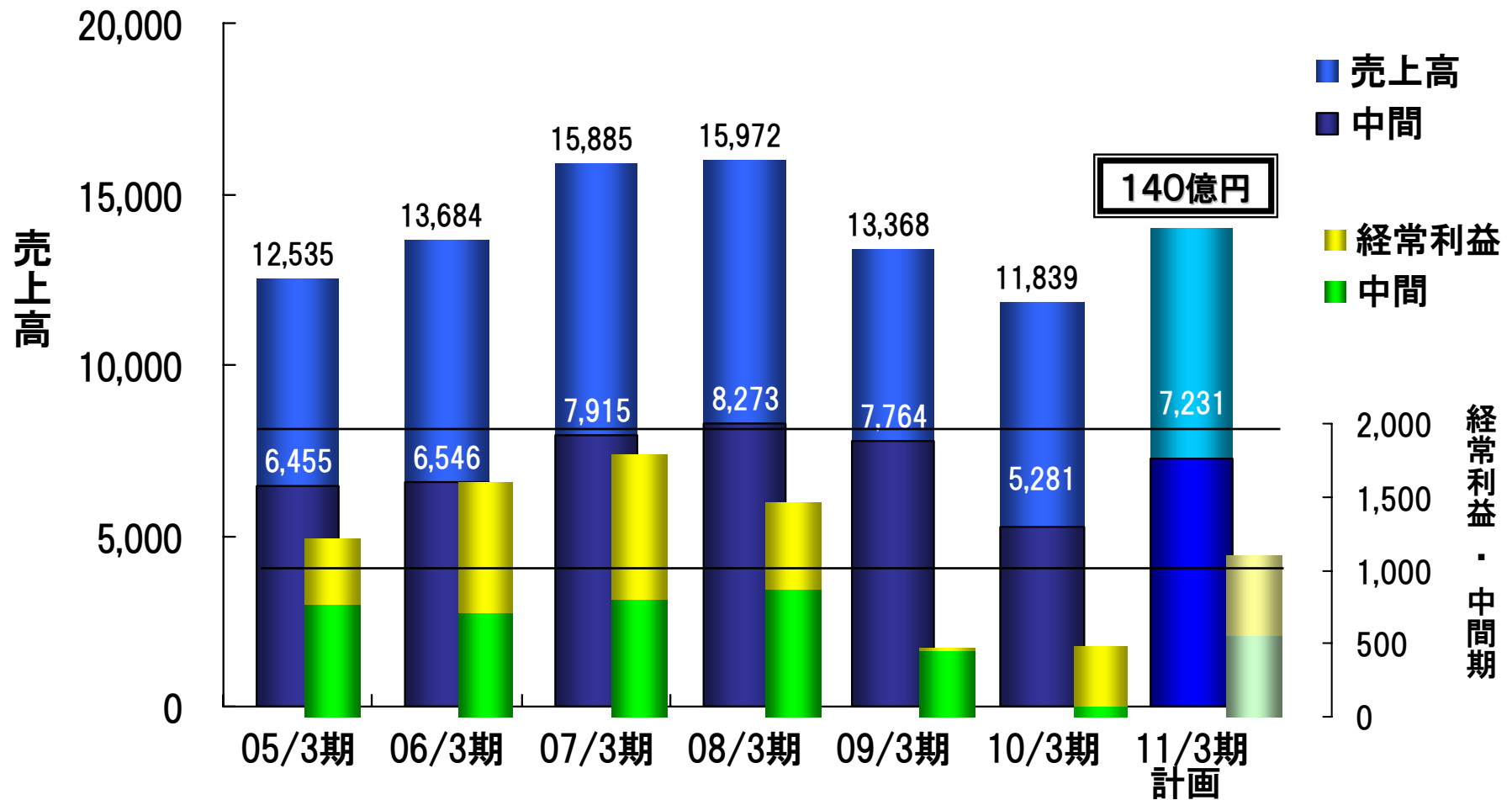
業績（連結）

（単位：百万円、％）

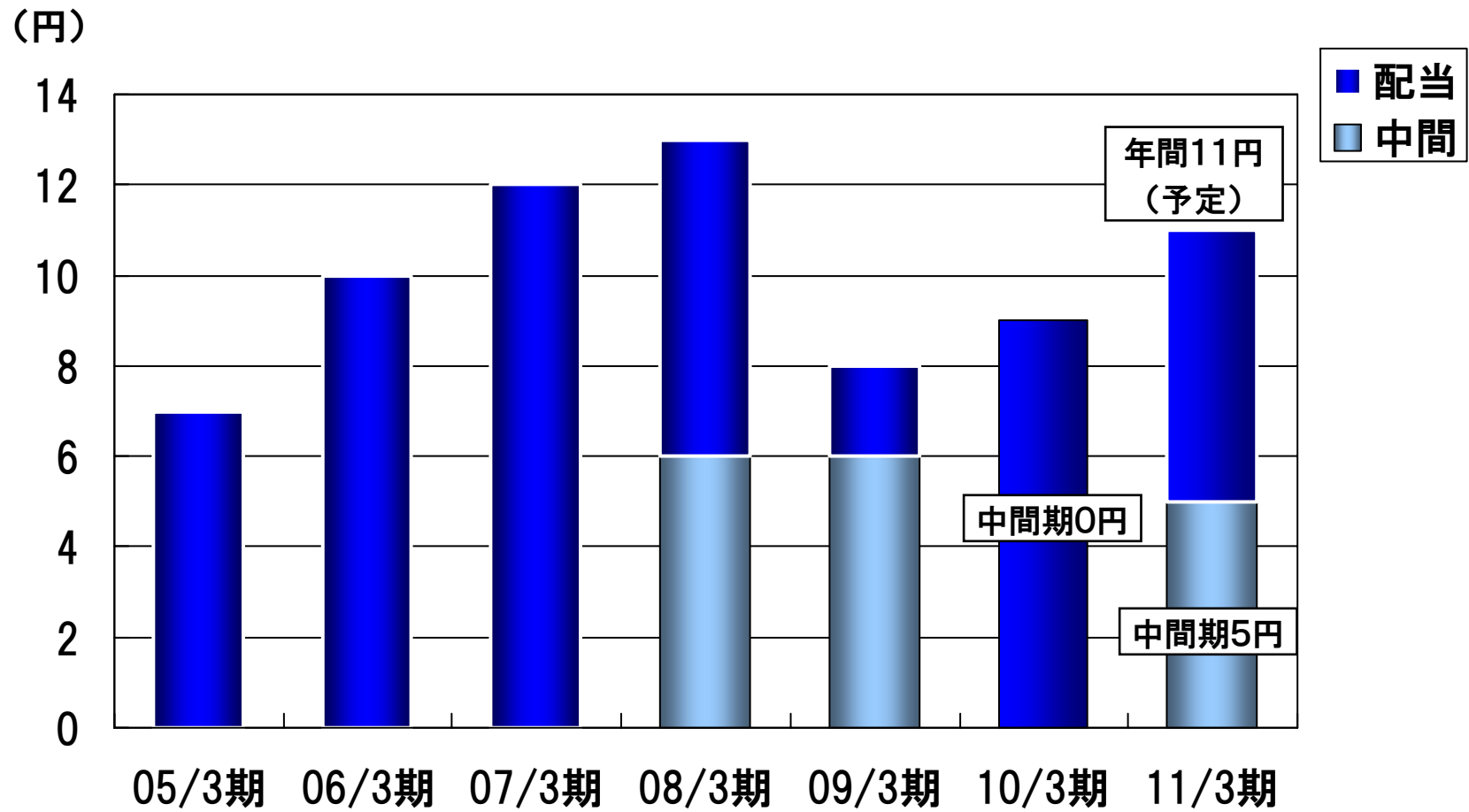
	10/3期	11/3期 (年初計画)	11/3期 (修正計画)	前年増減率 (修正計画)
売上高	11,839	12,500	14,000	18.2 %
ノイズ	6,399	6,600	8,120	26.9 %
サージ	2,399	2,950	2,840	18.4 %
表示	2,750	2,550	2,550	△7.3 %
センサー	291	400	490	68.4 %
営業利益	550	600	1,200	117.9 %
営業利益率	4.7	4.8	8.6	—
経常利益	482	600	1,100	127.9 %
当期純利益	245	450	550	123.8 %

売上高推移

(単位:百万円)



配当の推移



〔Ⅳ〕

下期および来期へ向けての施策

下期および来期へ向けての施策

【事業の拡大】

1. ノイズ事業

① ECO発電分野を強化(技術・商品開発+顧客開拓)

↳ 次のステップ=電気自動車関連

② ノイズフィルターは高帯域・大電流領域へ参入

2. サージ事業

① 半官半民市場(電力・鉄道等)へ

「アブソーバモジュール」をもって参入

② SMD型(RHCAシリーズ)開発終了

⇨ 通信業界へ参入

下期および来期へ向けての施策

【事業の拡大】

3. 表示事業

- ① **LED関連** — LED照明分野のカスタム市場を拡大
- ② **FS-LCD** — 優れた表示性(明るさ・コントラスト・色彩性等)を前面に出して、空港・駅舎等の表示へ

4. センサー事業

- ① **工作機**業界中心 + **他業界**へ展開を推進

下期および来期へ向けての施策

【販売の拡大】

1. 中国市場 — 従来の日本国内事業の再現
(富裕層拡大 + 円高)

2. ASEAN「経済共同体」
— 6億人のマーケット

3. インドの台頭(電機業界)

スリランカ工場
の存在意義

下期および来期へ向けての施策

【生産の革新】

1. 中国工場 —— 人海ライン ⇨ 省人化(機械化)ラインへ
2. スリランカ工場 — 生産体制(生産技術・品質管理・原価管理等)を確立させ、次の増産投資へもっていく
3. 福島工場 —— LED・センサーの生産技術棟を新設
内製化と共に、生産技術を向上させる
4. 部材開発室 ——
 - ① 新しい材料で差別化
 - ② 部材高騰を、技術改善でコストダウン
5. 増産体制 ——
 - ① コンデンサ 6500→8000万個/月(120%)
 - ② アブソーバ 900→1200万個/月(130%)

OKAYAグループの生産拠点

生産品目：サージ



OSD(埼玉県行田市)

生産品目：ノイズ

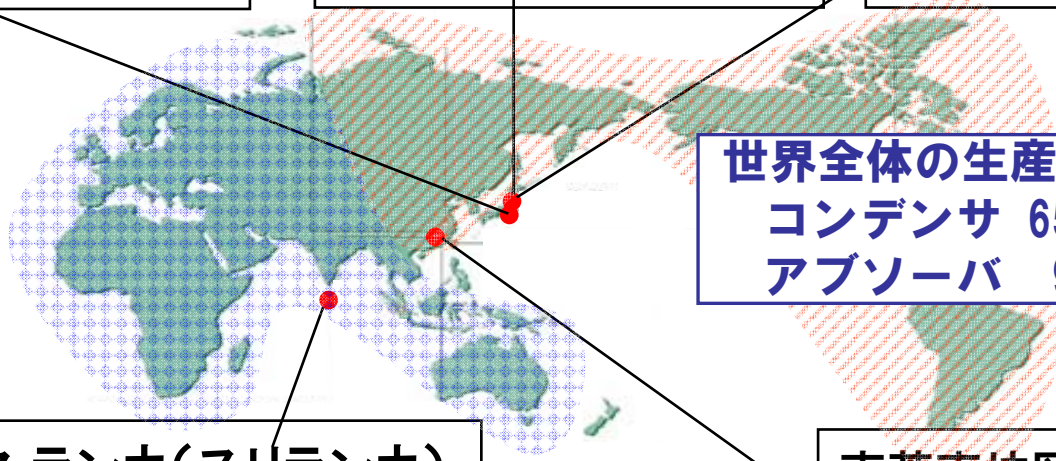


東北オカヤ 岩手工場

生産品目：表示、センサー



東北オカヤ 福島工場



世界全体の生産能力（現状→来期）
コンデンサ 6500→8000万個/月
アブソーバ 900→1200万個/月

オカヤ ランカ(スリランカ)



生産品目：ノイズ

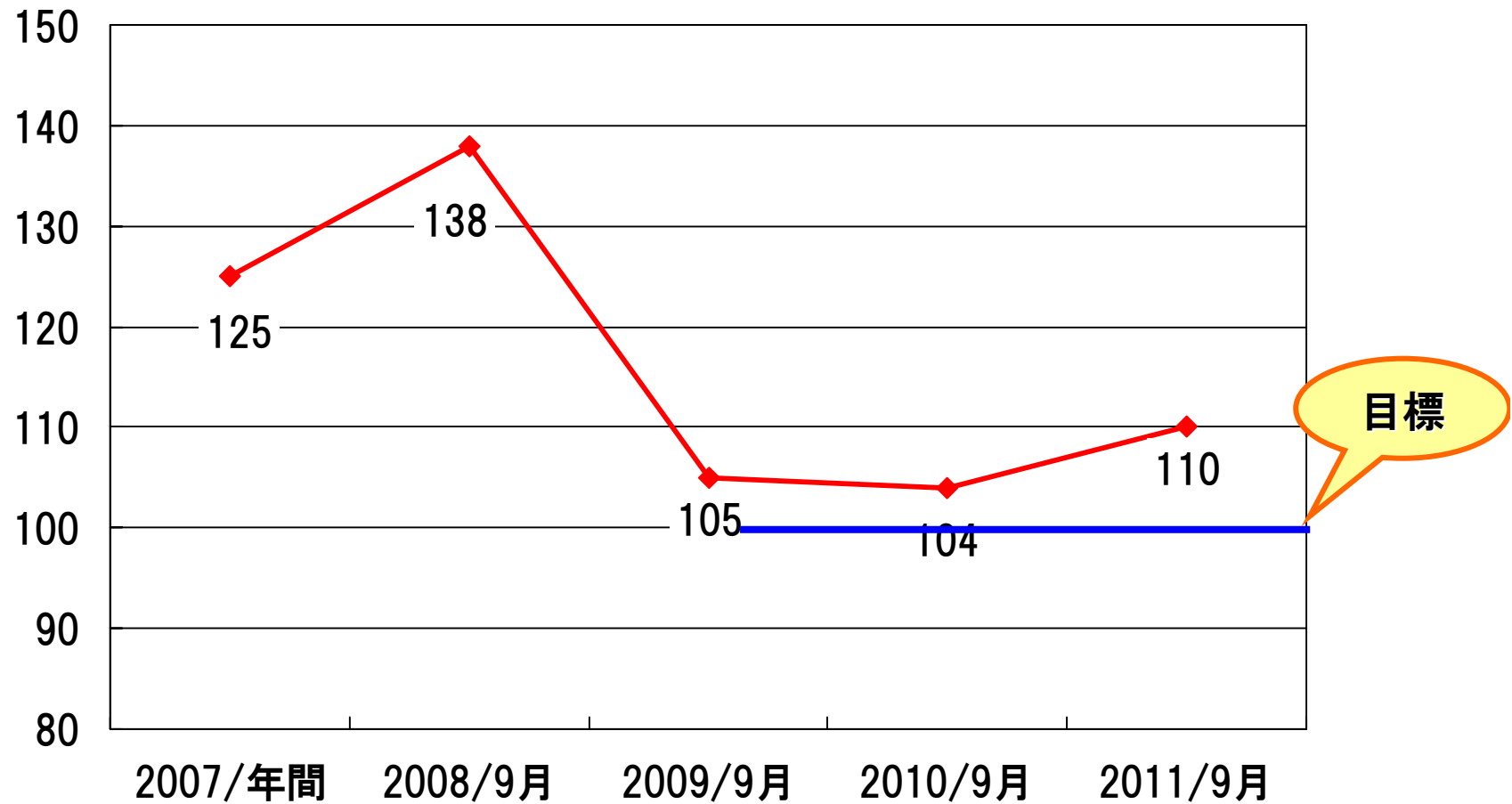
東莞東坑岡谷電子廠
(広東省東莞市)



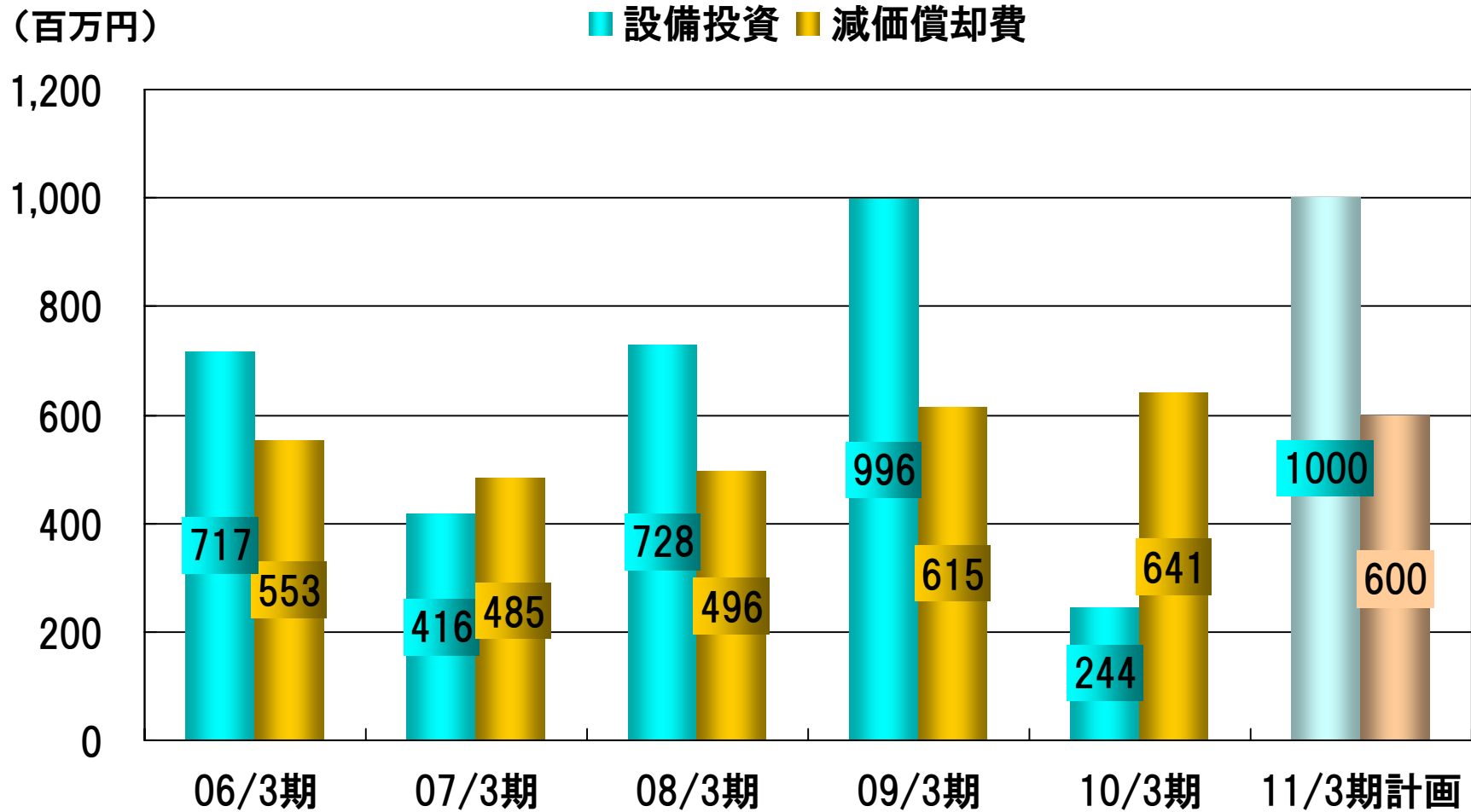
生産品目：ノイズ、サージ

損益分岐点の改善（売上高／営業利益）

（億円）



設備投資と減価償却費



次への設備投資予測

1. **雷サージ用アブソーバ** RHCA(表面実装型)の
量産ライン投資
2. **ECO発電**他大容量フィルムコンデンサの製造ライン投資
3. **スリランカ工場**の第二増産投資
4. **中国東莞工場**の省人化用設備投資
5. IT投資

**ご清聴ありがとうございました
ご支援のほどよろしくお願いいたします**

連絡先

窓口：経営システム部

ホームページ： <http://www.okayaelec.co.jp/ir/index.html>

メールアドレス： OEI_Kouhou@okayaelec.co.jp

電話番号：03-4544-7000

FAX番号：03-4544-7007